

【資料3-1】 審議会委員による検証シート 全体集計表 (R2.2.26)

整備・運営実施計画 実績報告書 審議会委員による検証シート 全体集計表(詳細)【R2.2.26】

拠点施設名	評価採点項目	A												評価者数	ΣA=B	B/Aの評価者数=E	E/5=F	施設別 全体評価平均点	コメント
		A委員	B委員	C委員	D委員	E委員	F委員	G委員	H委員	I委員	J委員	K委員	L委員						
① 花ロードえにわ 花の拠点	デザイン性		5	3		4			5	5	5	5	5	8	37	4.6	4.3	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンギングバスケットは、国道からも見えて華やかでシンボルとして評価が高い。 ・国道側の植え込み、道の駅側の花壇についても手入れされていて気持ちが良い。 ・ボランティアアランティアさんの管理がいつも綺麗にされている。 ・写真にある様子については、拠点を訪れる人々が見て楽しめる仕立てになっていると感じられる ・花の拠点という位置づけであることから、道路から駐車場へのアクセスまわり、施設内歩行者動線を意識したバランスのよい配置が望まれる。 ・「花のまちえにわ」の観光拠点にふさわしいレベルだと思う。 ・フラワーバスケットの個数もほどよく、建物と良く調和している。維持管理も良いようである。今後も質を落とすことのないように気を付けていくこと。 ・管理者が変わることで変化しなければよいと思う。 ・もっと活動しやすい体制にしてほしい。 	
	シンボル性	5	5	1		3			3	5	5	5	5	9	37	4.1			
	周辺との調和・関連性	5	3	3					5	5	5	5	5	8	36	4.5			
	まとまり・統一感		3	1					5	5	5	5	5	7	29	4.1			
	印象性	5	5	1					3	5	5	5	5	8	34	4.3			
② 恵庭溪谷ゾーン	デザイン性		1	1					3	3	3	1	3	7	15	2.1	2.3	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の緑と乾燥している道路との中に緑が調和している。 ・マスタプランについては、一年草でもいいが、看板周辺及び管理棟の後ろの花壇には、アナベルやキンフミスキのような低木や葉の美しいギボウシなどの宿根草を入れることで立体感を出す印象が良くなると思う。 ・それぞれの花壇は、別々の花/別々の色で構成されているため、まとまり・統一感がない。代表的に目立つ1種を共通化するなどの工夫が考えられる。 ・大自然を楽しむゾーンなので、今後は花色を華やかなものから少し抑え気味にしてはどうか。 ・白扇の滝ロータリー以外の花壇は花色が少し地味すぎる感じがする。周囲が濃緑の樹木のなので、その中でより引き立つ色合いの花壇にすると効果が出ると思う。特に森林公園入口は緑の森を背景に案内板脇の花壇の写真を撮る人が多くなるかも。 ・「花のまち」をアピールするに足る花壇となっているとは言い難い。(平凡な一年草花種・デザインに特徴がない) 植える面積を狭くするか宿根草の活用を検討できないか。溪谷内や山間にある花壇という特徴を活かすにはどうすれば効果的か専門家のアドバイスを得たらどうか。 ・あえて手を入れないことも美である。 ・手入れが十分とは言えない。 	
	シンボル性		1	1					3	5	3	1	3	7	17	2.4			
	周辺との調和・関連性	5	1	1					3	5	3	1	1	8	20	2.5			
	まとまり・統一感	3	1	1		1			3	5	3	3	1	9	21	2.3			
	印象性	5	1	1					1	3	3	1	1	8	16	2.0			
③ ふれらんど	デザイン性		3	1		3				5	5	3	5	7	25	3.6	3.6	<ul style="list-style-type: none"> ・一年草に頼るのではなく、ワイルドフラワーにしたら広大な敷地にのびのびと花達が咲き誇るように見える。 ・広い場所なので、明るい花風景が似合う場所なのでコンセプトはとても良いと思う。 ・種の残る夏から秋にかけて咲くワイルドフラワーゾーンがあってもいいのでは。 ・入っているかも知れないが、ラベンダーやネベタのブルーに毎年の変化をつける意味で一年草を加えるのも良いと思われる。 ・何となく肥料が聞いている感じがした。 ・広いので、ボランティアの確保が重要。 ・必ず看板を入れて撮影しなければならなかったのか ・来訪者がおもに利用する動線や、立つ視点・視野からはどのように見えるのかを確かめる必要がある ・幾つかの列を平行させて植える仕立ては、平面的に植えるよりも重層的な印象を感じられ、コストパフォーマンスが高いのかも ・看板や建築物、樹木の調和、花色の選択が良いので、今後も民間企業のボランティアが続くように働きかけと工夫が必要。 ・サイロなどと組み合わせた花景観の効果は大きい。維持管理が大変なら、花壇造成の場所を絞っても良いと思う。 ・同じ花種が1列に植えられているだけでも成立する恵まれた場所であり、高く評価したいが、寄付寄贈やボランティアが見込まれなくなったときに当該事業を継続できないと指定管理者が判断する場合、行政がどう対応するつもりかお考えをお聞きしたい。 	
	シンボル性		3	3		2				5	5	3	5	7	26	3.7			
	周辺との調和・関連性		3	1		3				5	5	3	5	7	25	3.6			
	まとまり・統一感		3	1		2				5	5	3	5	7	24	3.4			
	印象性		3	3		3				3	5	3	5	7	25	3.6			

拠点施設名	評価採点項目	A											評価者数	ΣA=B	B/Aの評価者数=E	E/5=F	施設別 全体評価平均点	コメント
		A委員	B委員	C委員	D委員	E委員	F委員	G委員	H委員	I委員	J委員	K委員						
④ ふるさと公園	デザイン性		1	5						3		3		4	12	3.0	2.7	<ul style="list-style-type: none"> ・一昨年は樹木が鬱蒼としていて、街中の明るい開放的な空間、陽が入って明るい部分と大きなシンボルツリーの木陰とのメリハリが欲しいと思った。 ・お年寄りや学生、ベビーカーを押した親子が乳母車を横に置いて芝生やベンチに座り寝る場所になればと思う。 ・入り口には明るい草花が咲く部分もあってよいのではないかな。
	シンボル性		1	5						1		3		4	10	2.5		
	周辺との調和・関連性		3	3						1		3		4	10	2.5		
	まとまり・統一感		3	3						3		3		4	12	3.0		
	印象性		3	3						1		3		4	10	2.5		
⑤ 恵庭IC周辺	デザイン性		3	1		3			3	3	5	5	3	8	26	3.3	3.6	<ul style="list-style-type: none"> ・恵庭ICから下りてきた正面にせっかく花壇を作っているけど、広告がありよく見えない。又、背が低い花より高い花と目立つ色の花だと車から見えないと思う。 ・高速道路の入り口になる箇所ですが、後ろにグラス植物や大型のホスタなどで背景を作り立体的にした方が前の一年草が映えると思う。 ・中央分離帯の花は、車で走る速度で見て美しく見える花の組み合わせを考えられないでしょうか？空の森の芸術の森の国道の花はとてもセンスいいです。しかし中央分離帯という性質からすると、除草作業が定期的に出来ない場所なので、ある程度草が混じっても良い植栽になるかも。 ・おもに目にするのは自動車のドライバーと考えられ、途切れが少ない花の線として車道とともにパースペクティブで見えるのであれば、一定の好ましい印象に繋がると思われる。 ・花にこだわらず、こんもりとして柔らかかに膨らんだ緑の連なりにもよい印象を受ける 「一定の密度感で連なる」状態が鍵なのかも知れない。 ・中央分離帯の花植栽は、緑主体で彩り・花の美しさが見られないのが残念。 ・中央分離帯の花の管理はかなり難しいと思われるので、花植栽の一方法として一定間隔で花壇樹を設置していくことも考えられる。 ・中央分離帯への植栽について花種の選定に気を配られていて、多くのボランティアの協力を得られていることは高く評価できるが、業者に委託している維持管理についてはシーズン中雑草や花がら等が目立つことが多い。委託金額と作業日数や時間のバランスを見直すことができれば。
	シンボル性		3	3		3			3	5	5	5	5	8	32	4.0		
	周辺との調和・関連性		3	1		2			3	3	3	5	5	8	25	3.1		
	まとまり・統一感		3	1		4			3	5	3	5	5	8	29	3.6		
	印象性		3	3		3			3	5	5	5	3	8	30	3.8		
⑥ 国道36号線 フラワーロード	デザイン性		3	3		1				3	5	3		6	18	3.0	2.7	<ul style="list-style-type: none"> ・以前は1年草のボーダー花壇でしたが、国道の景色に馴染まず違和感があった。 ・パーキング脇のポイントとなる場所に宿根草をメインにした花壇を作ったのは良かったと思います。目を引く背の高くなるグラス植物が入っても良いかも知れない。 ・土手側に草と共生しても違和感がない、土手から垂れ下がる藤や野の花を季節ごとに咲く花を意図的に入れてはどうか。 ・自動車のドライバーからは看板しか見えない 立体感とボリューム感を感じられるような仕立てが望ましいように感じる。花を適切に自立させることが出来れば、看板は別の場所に移動するか撤去しても構わないと思われる。 ・宿根草をベースにした花壇の経年変化を検証することが大事。そこから恵庭らしい花づくりデザインの被ヒントを得たいところ。 ・ランニングコスト圧縮の面から宿根草と一年草を上手に組み合わせる花壇づくりの考え方は良いと思う。維持管理が可能な状況での花壇づくりとすることが大事。管理が行き届かない花壇はみじめであるため。 ・旧花壇が撤去されたのは残念。 ・花壇の場所としては最悪なところであり、従来よりコンパクトにしつつ植栽の工夫を行っているとのこと、今後の継続について期待したい。宿根草の活用等植栽について専門家のアドバイスが毎年受けられるように。また水を出せる場所がないという欠点、目立つ場所であるが故に恵庭IC周辺と同様、維持管理がこれまで以上に重要と考える。
	シンボル性		3	1		1				1	5	3		6	14	2.3		
	周辺との調和・関連性		3	1		1				3	3	5		6	16	2.7		
	まとまり・統一感		3	1		1				3	3	5		6	16	2.7		
	印象性		3	1		1				1	5	5		6	16	2.7		
⑦ 3駅前ロータリー	デザイン性		3	3					5	3	5	3	3	7	25	3.6	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・恵庭駅（東口ロータリー）の雑草多い。 ・駅前に花があるのは、花のまち恵庭のイメージづくりとしては大切な要素と思う。 ・恵み野駅は、パーゴラを活用した演出がなされており、駅利用者にはアピールしていると感じるが、写真がないのは何故か。 ・恵庭駅は、駅利用者の視点、再開発ビル経由動線などを考慮して、視界に入りやすい仕立てが望まれる。 ・装置等に頼ると花の美しさが損なわれるため、草花のボリュームとデザインの良さを誇るという方向で考えてほしい。 ・恵庭駅の東口、西口の花壇や花装飾がイメージ通りに造られると、「花のまち」恵庭を印象付けることが出来る。特に東口は街路樹と花壇の調和が良い。あとは維持管理次第で美しさが決まる。 ・駅によって使う花の種類や色を変えとか駅舎のイメージに合わせたコンテナの色にするなど、工夫をしていると感じさせる改善もあってよいのでは。コンテナの数を減らすかわりに大きいサイズにするなど見栄えを上げながら維持作業の面積自体は下げるなどしたらどうか。
	シンボル性		3	3					3	5	3	3	3	7	23	3.3		
	周辺との調和・関連性		3	1					5	5	3	3	3	7	23	3.3		
	まとまり・統一感		3	1					5	3	3	3	3	7	21	3.0		
	印象性		3	3					3	3	3	3	3	7	21	3.0		

拠点施設名	評価採点項目	A											評価者数	ΣA=B	B/Aの評価者数=E	E/5=F	施設別 全体評価平均点	コメント
		A委員	B委員	C委員	D委員	E委員	F委員	G委員	H委員	I委員	J委員	K委員						
⑧ 恵庭駅通 恵み野駅通	デザイン性		3	3					5	1		5	3	6	20	3.3	3.4	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会のボランティアさん（恵み野西口）が宿根草を主に手入れが行き届いている。 ・恵み野のハンギングバスケット及びコンテナはポリウムもありデザイン性、シンボル、印象も高い。 ・恵庭駅通は植栽スペースが広すぎないか？あの広さを維持するのは大変で草が目立つ。花壇半分を平板などで敷き詰めモニュメント（アート作品）やベンチを置くのはどうか？ ・プランターのレベルが高い。 ・舗石等の人工地盤上における草花修景は、花壇や花鉢（プランター）で行われるが、これら花壇や花鉢との間に、緑の樹木鉢（例えばコニファー）を置くことで、色の変化、立体的変化が生まれてくる。花修景手法もいろいろ検討すると良い。 ・一部、スペースの都合上だと推察しますが、花壇が通りから見えにくい箇所が見受けられた。置き場、置き方、向きなどにも統一感が保たれることを期待する。 ・花壇を余り分散して置かないで、幾つかまとめて置くと手入れがしやすくなり、ポリウムのある方が目につくと思う。
	シンボル性		3	3				3	3		5	4	6	21	3.5			
	周辺との調和・関連性		3	3				3	5		5	4	6	23	3.8			
	まとまり・統一感		3	3				5	1		5	3	6	20	3.3			
	印象性		3	3				3	1		5	4	6	19	3.2			
⑨ 図書館本館	デザイン性		5	5		5			5	5	5	5	5	8	40	5.0	4.6	<ul style="list-style-type: none"> ・芝生がきれい。 ・デザインも良く、ハイマツも剪定したことで図書館の中から見てもスッキリと明るい印象になった。 ・中庭の芝生も取り換えたことによって、市民がイベントとして使える青空図書館が定着すれば、イベントのない日にも利用する方がいるのではないかな？ ・大阪市などで採用されている緑視率の考え方に照らすと、後背の樹木や芝生などと相まって、視界に占める緑の割合が高く良好な印象を受ける。花に詳しい方であれば、まだまだ工夫の余地があるのかも知れないが、必要充分と感じられる。 ・豊かな情操を育てる施設にふさわしい庭である。 ・コミュニティガーデンの場所としては適地と思うがメインガーデンは見えない位置であり普段一般市民等の立入があまり見られないのでは。また、メインガーデン以外の通常花壇のほうが道路からよく見える位置にあるがあまり目立った印象がない。この点は植栽の工夫によって改善できるはず。
	シンボル性		5	3		5			3	5	5	5	5	8	36	4.5		
	周辺との調和・関連性		5	3		5			5	5	5	4	8	37	4.6			
	まとまり・統一感		5	3		5			5	5	5	4	8	37	4.6			
	印象性		5	3		5			5	3	3	5	4	8	33	4.1		
⑩ 市民会館	デザイン性		1	1		3			3	1	3	5	3	8	20	2.5	2.9	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年花の色を変え、変化に富んでいる。除草もされている。 ・市民会館の花壇は1年草を主にしても、もう少し質の高いデザインをしてはどうか。 ・花にポリウムを感じにくいのは、植えた直後のためだろうか？花・緑よりも土の印象がよくなる。恵み野商店街の花壇のように、植えられる範囲と土ではない範囲とを用意して、花で埋め尽くさず手間を減らして印象のよい仕立て方も検討できそうに思う。 ・同じ作業量でもっといい印象を与えるために、花色を絞り込み、統一感に留意すべき。 ・一部分を除いて、花のポリウム感がやや不足しているように思う。 ・若干、花と花の間隔が空いていて、やや寂しい感じを受けた。 ・恵庭らしい花壇、植栽かというあまり感じられない点は残念。（どこのまちにもある花壇）一年草だけでなく宿根草や花丈の高低等の工夫があれば、シーズン中は指定管理者の職員が1人で草取り等作業を行っているところを見たことがあるが所管部は委託で丸投げなのか。 ・花の植え方を恵庭の花を植えるなどして、恵庭の花壇らしくしてほしい。
	シンボル性	5	1	1		2			3	3	3	5	3	9	26	2.9		
	周辺との調和・関連性	3	3	1					3	3	3	5	3	8	24	3.0		
	まとまり・統一感	5	3	3		3			3	3	3	5	3	9	31	3.4		
	印象性	5	1	1		2			3	1	3	5	3	9	24	2.7		
⑪ 黄金ふれあい センター	デザイン性		5	3					1	5	5	5	5	7	29	4.1	4.1	<ul style="list-style-type: none"> ・花壇の手入れを通じたコミュニティ形成の様子を感じられ、花壇の積極的活用という意味では、広がってほしいと感じる。 ・芝生も花も野菜もいろいろあるが、花をしっかり見せようとするならば、まずは花壇づくりのリーダーが必要である。デザインから花苗植栽や維持管理まで、そのリーダーの指導の元、集まった花壇づくりに関心のある人たちが経験を積んでいけるようになると思う。 ・整備に係る担い手不足という課題もあるかと思われるが、地域住民を巻き込んだ各種事業との連携をした花のまちづくりが拡充されることを期待する。
	シンボル性		5	5					1	3	5	5	5	7	29	4.1		
	周辺との調和・関連性		5	3					1	5	5	5	5	7	29	4.1		
	まとまり・統一感		5	3					1	3	5	5	5	6	22	3.7		
	印象性		5	5					1	5	5	5	4	6	25	4.2		
⑫ 総合体育館	デザイン性			1					3	3	3		3	5	13	2.6	2.1	<ul style="list-style-type: none"> ・体育館という施設の性格上、子どもたちも多く訪れ、花壇を形づくる枕木の小口を渡って遊ぶ光景が目立つ。そうなるしてしまうと花が踏み荒らされてしまうため、進入禁止のロープがあるのだろう。しかし、ロープによって印象はかた落ちて、 ・市民会館と同様に、花色の選択を絞ること、フォーリッジが豊かな草花を植えることよい。 ・花のポリウム不足。もう少し花数を増やし、維持管理もきちんと行われていくと、もっと見栄えがする花壇になると思われる。 ・その他の施設と比較すると事業費が圧倒的に少ないので、相應の花壇整備であると考察するが、少し寂しい印象。予算措置および効果的な整備を期待します。 ・平面図と花壇の写真、植込み株数が120株程度ならば拠点施設として適なのか。指定管理者が悪いのではなく所管部の自己評価が甘く感じられるところから首を傾げざるを得ない。体育館前通り（並木道）の花植えのほう地域住民や学生の関りがある。
	シンボル性			1					1	1	3		3	5	9	1.8		
	周辺との調和・関連性			1					3	3	1		3	5	11	2.2		
	まとまり・統一感			1					3	3	1		3	5	11	2.2		
	印象性			1					3	1	1		2	5	8	1.6		

拠点施設名	評価採点項目	A												評価者数	ΣA=B	B/Aの評価者数=E	E/5=F	コメント
		A委員	B委員	C委員	D委員	E委員	F委員	G委員	H委員	I委員	J委員	K委員	L委員					
⑬ 緑と語らいの広場 (えにあす)	デザイン性			1		3			1	1	3		3	6	12	2.0	2.1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 植栽をした時は多分きれいだが、除草等はしていないので、秋(10月)まで咲いている花が見えない。 ・ 駐車場の真ん中に設置された花壇は、誰にどんな印象を感じてほしいのかが不明瞭と思われる。周囲に自動車が増えれば、視界が限られ目を留めるひとは殆どいないのではないかと推察する。 ・ シンボルツリーを植えたり、生け垣的な中低木で塊感を演出しつつ、足許に花壇するような仕立てが望ましいように感じる。 ・ 建物廻りの花壇はいいが、駐車場の花壇には課題あり。花壇としては面積が広いので本木類(冬季、除雪の影響を受けないもの)と草花を組み合わせ、手入れの軽減を図ってはどうか。 ・ 花壇デザインが単調。しっかりした花壇意匠計画の元、花植栽を行うともっと良くなる。花のリーダー、指導的立場の人が必要と思われる。 ・ 駐車場中央部に位置する花壇の景観性、シンボル性は弱い印象。施設開設から2年ということもあり、土づくりも重要な要素ではないかと推察する。 ・ 黄金ふれあいセンターと違い、事務局的な立場の適者がいないことかと。花のまちをイメージさせる印象は薄いと云わざるを得ない。
	シンボル性			3		3			1	3	3		3	6	16	2.7		
	周辺との調和・関連性			3		1			1	3	3		3	6	14	2.3		
	まとまり・統一感	1		1		3			1	3	3		3	7	15	2.1		
	印象性	1		1		2			1	1	1		3	7	10	1.4		

◎空白部分は評価無し。